

2025年夏季の天候の振り返りと 北陸地方 3 か月予報

令和 8 年 7 月 24 日
富山河川国道事務所
メディア説明会

2025年夏季の天候の振り返り

最高気温が 40℃以上の日の名称を「酷暑日」に決定

最高気温 40℃以上の日の名称について、気象庁ホームページで実施したアンケート結果や有識者のご意見を踏まえて「酷暑日」と決定しました。

近年、夏に顕著な高温を記録する年が頻発しており、40℃を超える気温が毎年のように観測される状況を受け、最高気温が 40℃以上の日について新たに名称を定めるべく、2 月 27 日（金）から 3 月 29 日（日）にかけて気象庁ホームページにおいてアンケートを実施しました。非常に多くの方から回答をいただき、感謝申し上げます。

同アンケートの結果（別紙参照）及び有識者からいただいたご意見を踏まえ、当該日の名称を「酷暑日」と定めるとともに、今後、当庁の発信する情報等において利用することとしましたのでお知らせします。

「酷暑日」は同アンケートにおいて最も多く支持を集めるとともに、有識者からも社会的にもなじみがあり、日本語としても適切である旨の意見を多くいただいております。名称として最も適切であると判断しました。

気象庁では本名称の活用により、顕著な高温への警戒を効果的に呼びかけてまいります。

今般の名称検討にあたって行われたアンケート結果は以下のとおりです。

実施期間： 令和 8 年 2 月 27 日（金）～3 月 29 日（日）

総回答数： 478, 296

候補名	得票数
酷暑日	202, 954
超猛暑日	65, 896
極暑日	25, 638
炎暑日	22, 292
烈暑日	21, 930
激暑日	20, 282
厳暑日	9, 219
熱暑日	8, 782
甚暑日	4, 595
劇暑日	4, 396
大暑日	3, 341
盛暑日	1, 478
繁暑日	865

また、「その他」のご意見として、以下のような名称案も寄せられました。
「汗日暑日暑」、「灼熱日」、「激アツ日」、「危険猛暑日」、「自宅待機日」
「極猛暑日」、「サウナ日」、「鬼暑日」、「沸騰日」、「熱盛日」など

なお、「酷暑日」は一般財団法人日本気象協会において日最高気温 40℃以上の日を指す用語として 2022 年から独自に使用されています。

夏季の顕著な高温傾向を受けて、最高気温40℃以上の日の名称を酷暑日に決定

昨年（2025年）夏は各地で記録的な最高気温（酷暑日）を記録

- 日最高気温の国内最高（8月5日に群馬県伊勢崎で 41.8℃）が記録され、40℃以上の延べ地点数は 30 地点と、猛暑日の延べ地点数（9385 地点）とともに歴代最多となった（図 K1）。

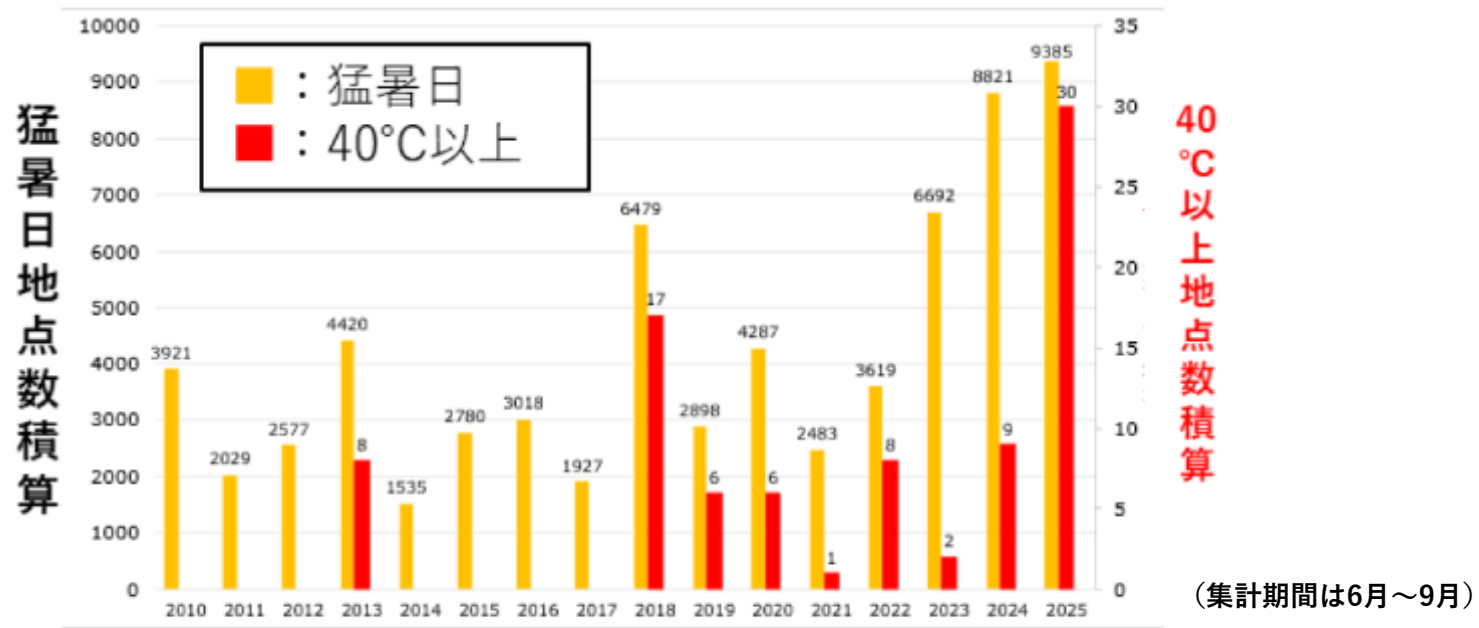


図 K1 2010 年以降の夏の猛暑日と日最高気温 40℃以上の延べ地点数

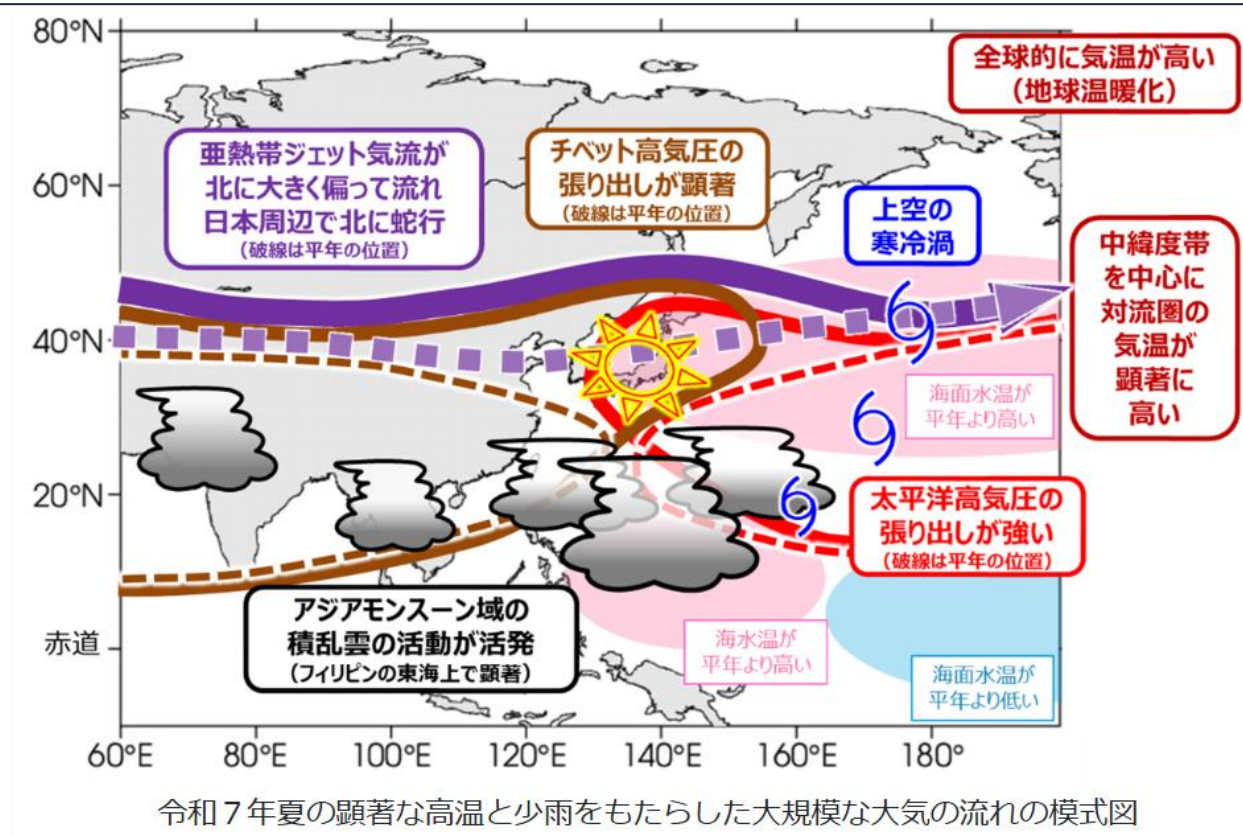
令和 7 年夏の記録的な高温と 7 月の少雨の特徴およびその要因等についての異常気象分析検討会資料より抜粋

最高気温記録極値 1 位：
富山 39.8℃ 2025年8月4日 伏木 39.7℃ 1994年8月14日

昨年（2025年）夏季の海洋と大気の特徴

上空の偏西風が平年より大幅に北を流れ、上空のチベット高気圧が日本付近に張り出した。フィリピン東海上の積乱雲の活動が極めて活発で、日本付近への太平洋高気圧の張り出しを強めた。日本付近は、チベット高気圧と太平洋高気圧が重なった背の高い暖かい高気圧に覆われた結果、下降気流が卓越し晴れて気温が上昇。

⇒ **40℃を超える顕著な高温を記録した期間が出現**



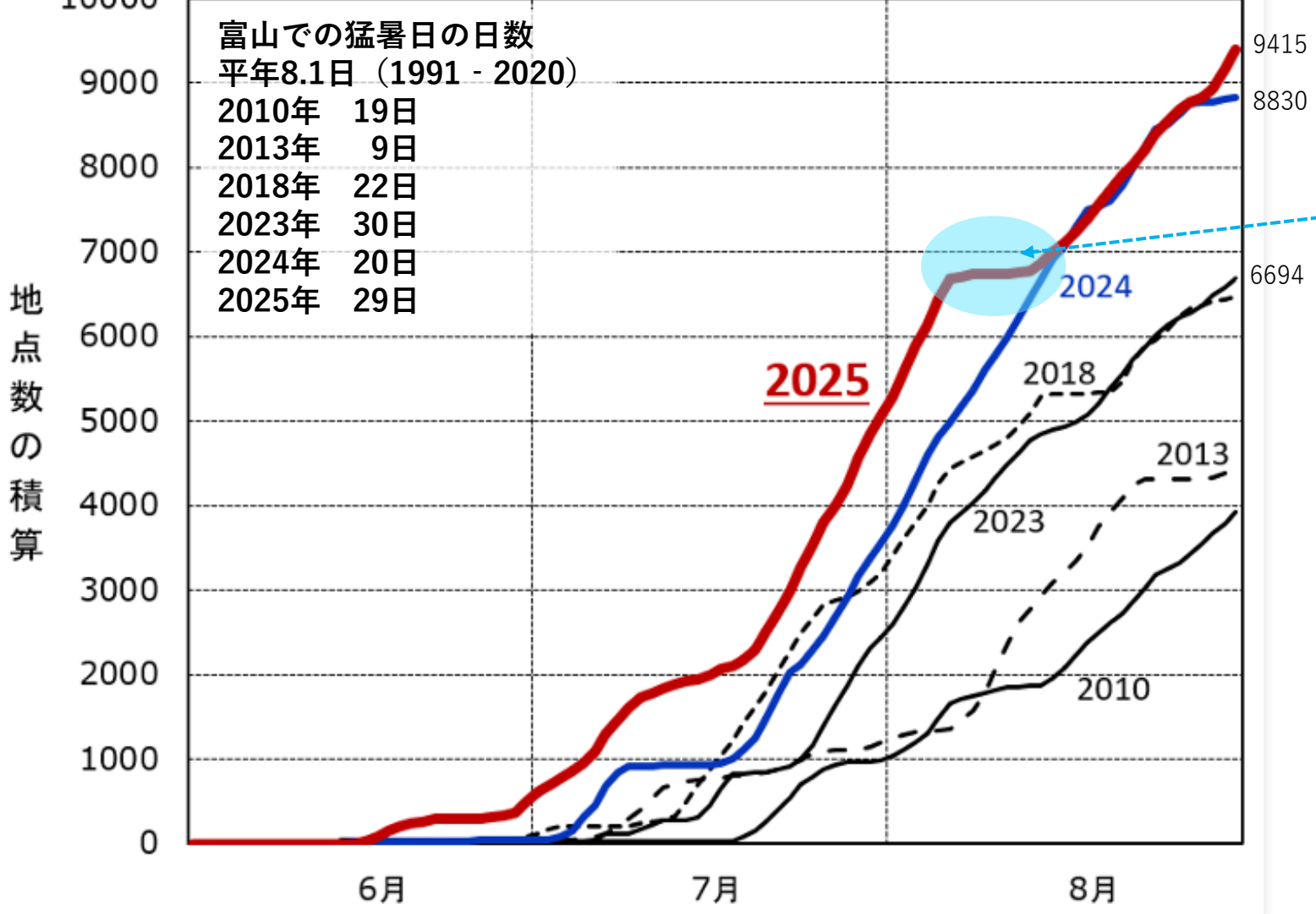
参考：2025年富山県
梅雨入りー梅雨明け
5/22頃ー6/29頃
(平年：6/11ー7/23)

令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等についての異常気象分析検討会資料

- ・多くの地方で早い梅雨入りに続き過去最も早い梅雨明けとなり、季節進行が早かった。
- ・7月は少雨が顕著となり、北陸地方では少雨の記録を更新した。⇒ 水不足の懸念

全国のアメダスで観測された猛暑日地点数積算（6月～8月） 比較

2010年以降の主な高温年についてプロット



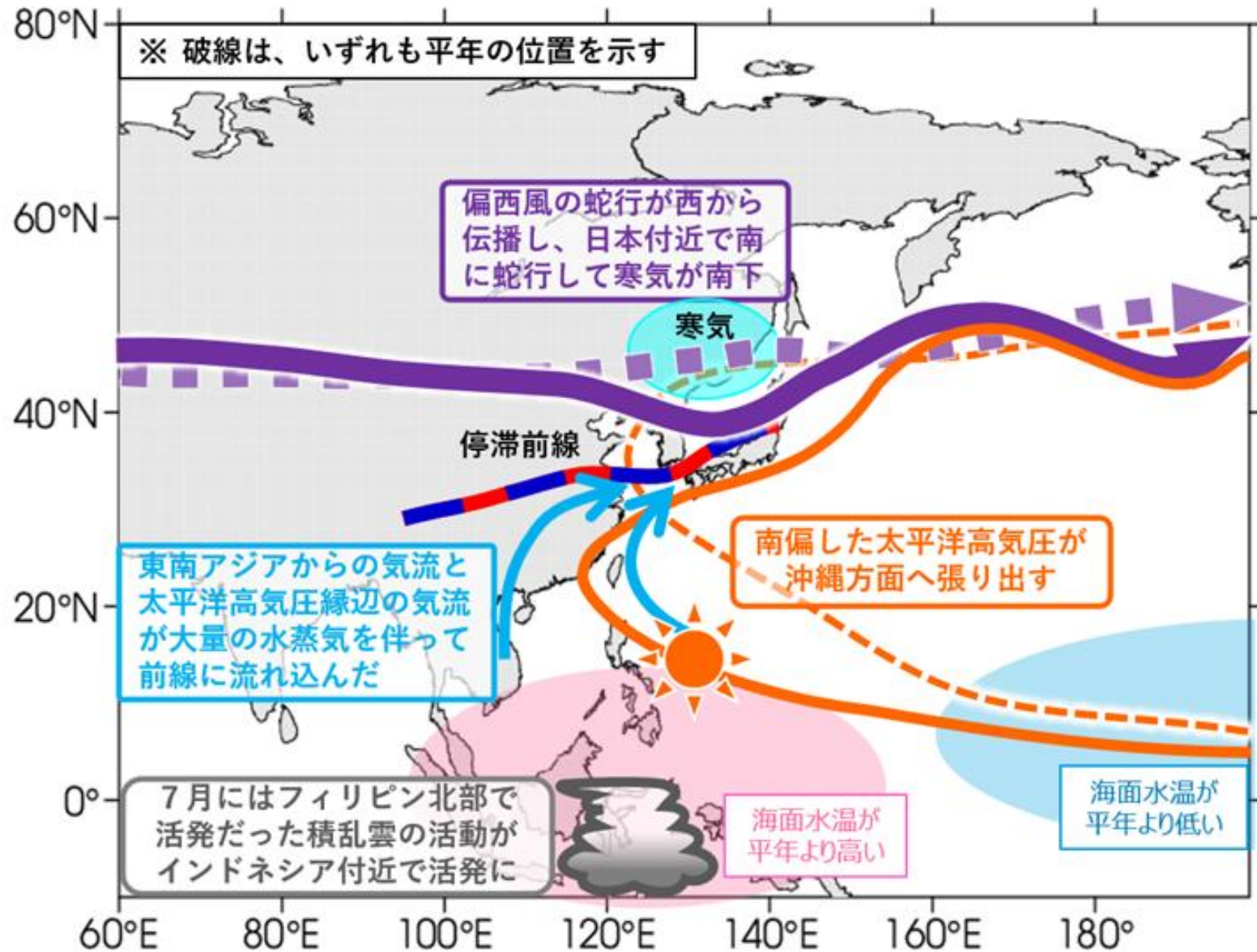
8月上旬猛暑地点数の増加は足踏み

図 1-3 全国のアメダス地点で観測された猛暑日の地点数の積算

6月1日～8月31日の推移を表し、2025年（赤線）と2010年以降の主な高温年を示す。各年の4月1日時点のアメダス地点数は、2010年が919地点、2013年と2018年が927地点、2022年が914地点、2023年が915地点、2024年と2025年が914地点。

令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等についての異常気象分析検討会資料より抜粋した資料を改変して転載

2025年8月6日～12日の日本付近における大 気の流れ



令和7年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴およびその要因等についての異常気象分析検討会資料から抜粋

北陸地方と九州地方では、8月前半に記録的な大雨となったところがあった。

2025年8月11日 熊本県に大雨特別警報を発表した事例

気象と災害の概況

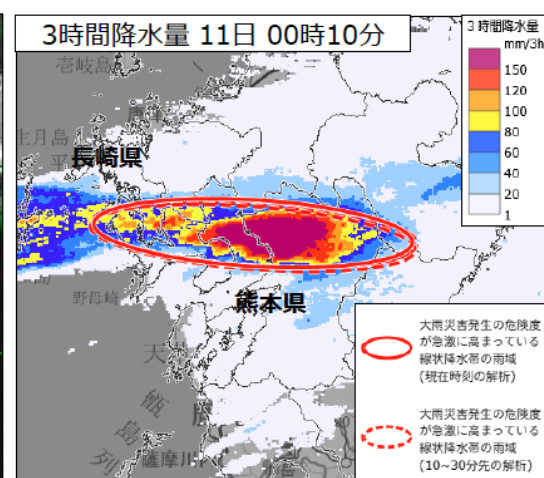
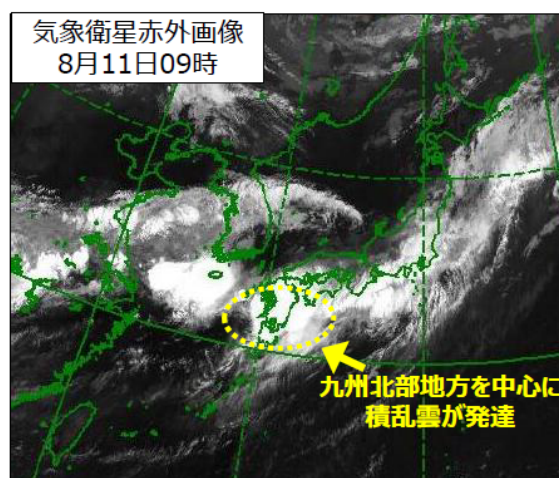
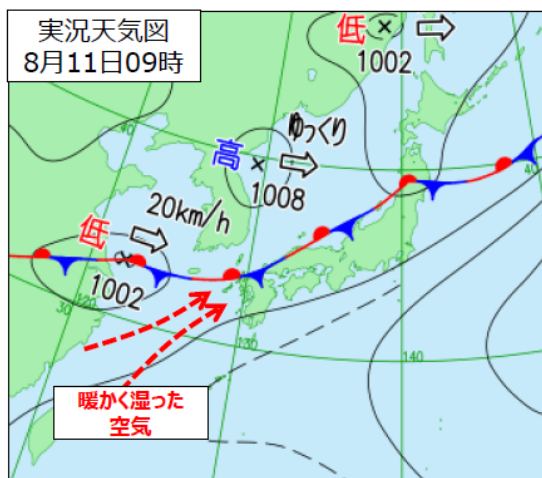
■概要

- 8月6日から8月12日にかけて、日本付近に停滞した前線の活動が活発となった。9日から11日は前線が九州付近に停滞して、九州北部地方を中心に非常に激しい雨※1や猛烈な雨※2が降った。
- 九州北部地方では9日夜遅くから11日にかけて線状降水帯が繰り返し発生し、熊本県では、3時間降水量で200ミリ、24時間降水量が500ミリを超えるなど、観測史上1位の値を更新した地点があり、記録的な大雨となった。この大雨において、熊本県では、大雨災害の危険度が非常に高くなり、さらに激しい雨が降り続いて重大な災害のおこるおそれが著しく高まったことから、11日未明から昼前にかけて熊本県の5市2町（玉名市、長洲町、八代市、宇城市、氷川町、上天草市、天草市）に大雨特別警報を発表した。
- この大雨の影響で、熊本県では、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。

※1 非常に激しい雨：1時間に50mm以上80mm未満の雨 ※2 猛烈な雨：1時間に80mm以上の雨

■人的・住家被害の状況（令和7年8月18日7時00分内閣府とりまとめによる） 熊本県のみ抜粋

- 死者4人、負傷者10人、住家全壊3棟、住家半壊5棟、床上浸水1,669棟、床下浸水1,665棟



8月11日に熊本県に対して特別警報を発表した際の気象状況
左：実況天気図 中央：気象衛星赤外画像 右：3時間降水量（気象レーダーによる解析）

雨量の予想と実際の状況について

- 九州北部地方に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、熊本県では大雨となることを予想し、8日夕方発表の気象情報で、11日頃にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水への注意を呼びかけていた。また、10日昼前には、線状降水帯発生の可能性に言及した気象情報を発表し、土砂災害への警戒、低い土地の浸水、河川の増水への注意を呼びかけた。
- 実際には、大雨特別警報を発表した地域では、10日夜遅くから11日昼前にかけて、線状降水帯の発生が続き、非常に激しい雨や猛烈な雨が降り続いたことで、予想を大きく上回る雨量となり、11日12時までの24時間に500ミリを超える記録的な大雨となった。

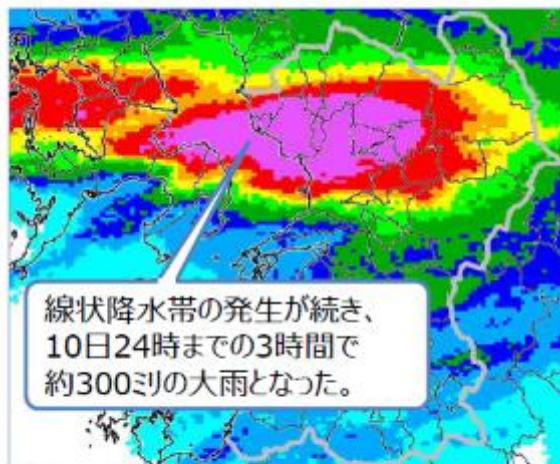
10日昼前の時点の予想3時間雨量（多い所）

10日～11日	18時～24時	00時～06時	06時～12時
熊本県	70 ミリ	70 ミリ	70 ミリ

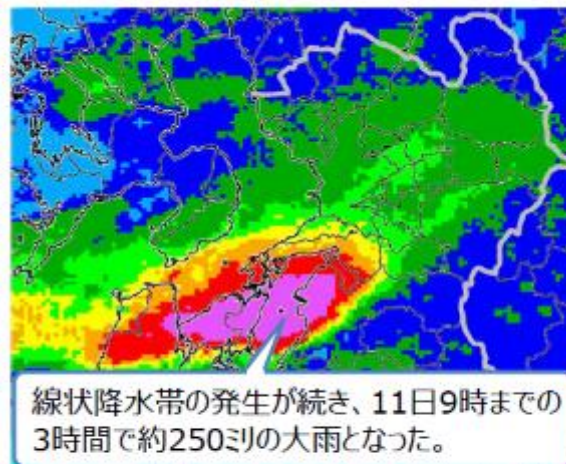
10日昼前の時点の予想24時間雨量（多い所）

	11日12時まで
熊本県	200 ミリ

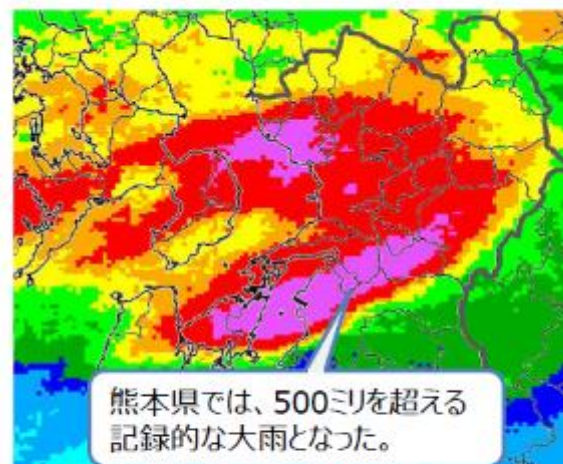
10日24時までの3時間雨量（実況*）



11日9時までの3時間雨量（実況*）



11日12時までの24時間雨量（実況*）



0.4 2 10 20 40 60 80 100 160 mm

0.4 2 10 20 40 60 80 100 160 mm

0.4 5 25 50 100 150 200 250 400 mm

熊本県では10日夜遅くから11日昼前にかけて、線状降水帯が連続して発生した。

* 実況の雨量はいずれも解析雨量による。

地球温暖化の影響（イベント・アトリビューション）

✓ 現象の発生確率や強度を推定するイベント・アトリビューションという手法を用いて、地球温暖化の影響について調べた結果、

- 2025 年夏ほどの記録的な日本域の高温は、地球温暖化がなかったと仮定すると、ほぼ発生し得ないことがわかった（表 K5）。
- 一方で、すでに地球温暖化が進行している 2025 年現在においても、約 60 年に一度の稀な高温だったと推定された（表 K5）。
- 8 月 10 日～11 日にかけての熊本県を中心とした大雨については、地球温暖化がなかったと仮定した場合に比べて、降水量がおよそ 25%増加することがわかった。

表 K5 イベント・アトリビューションによる 2025 年に観測された気温の発生頻度

推定の対象期間	2025 年に観測された気温を超えるのは	
	7 月	夏（6～8 月）
工業化以前	ほぼ実現しない	ほぼ実現しない
平年値期間（1991～2020 年）	約 420 年に一度	約 500 年に一度
すでに温暖化が進行している 2025 年現在（括弧内は誤差幅）	約 70 年に一度 （約 30～100 年に一度）	約 60 年に一度 （約 30～180 年に一度）

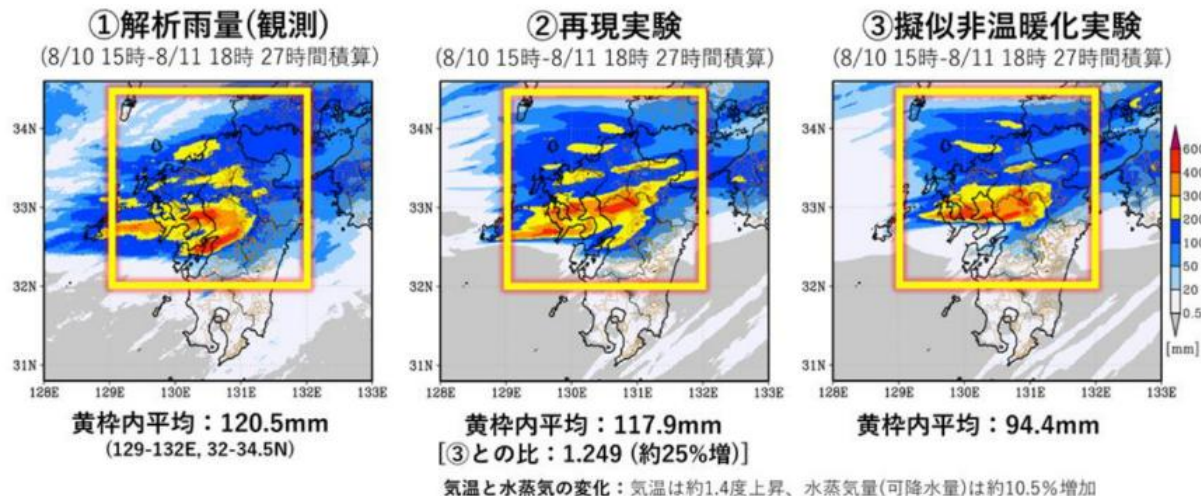
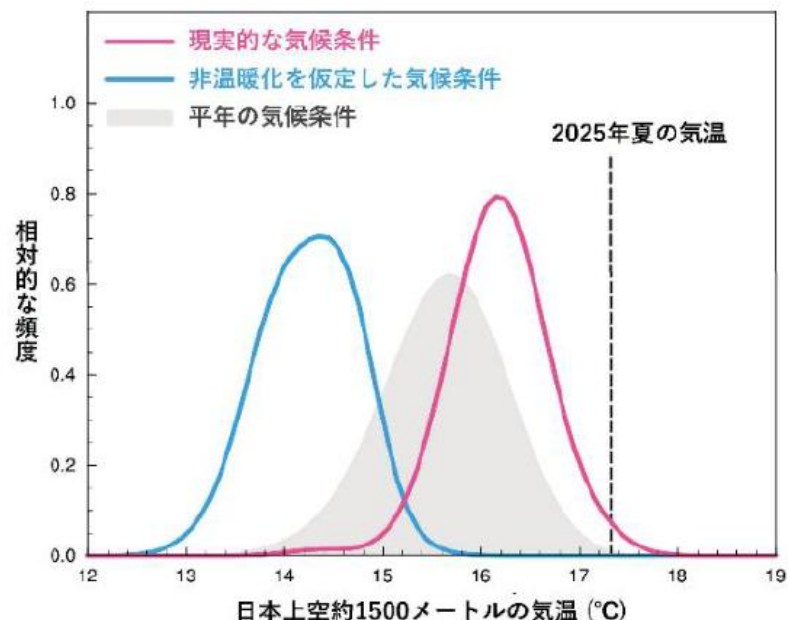
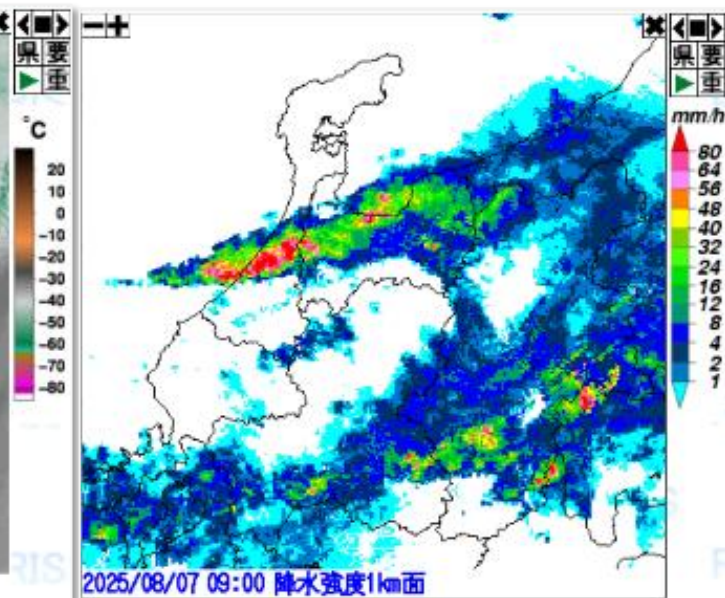
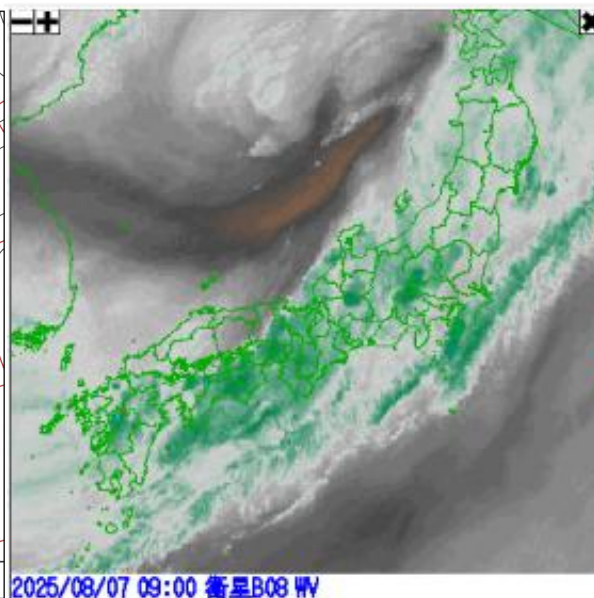
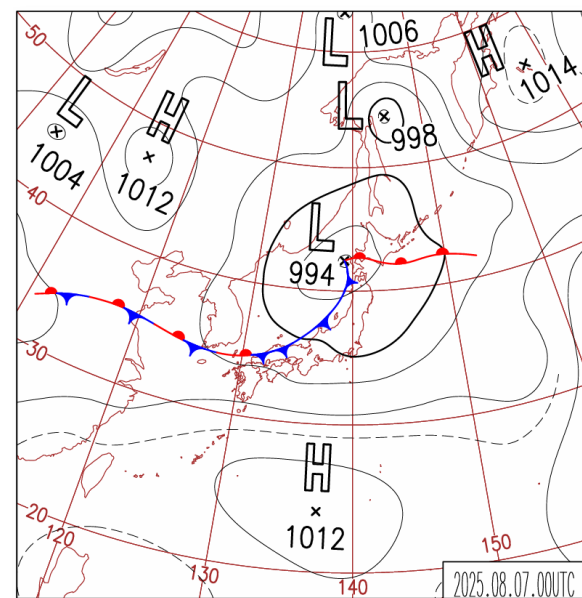


図 5-2 8 月 10 日～11 日の熊本県を中心とした大雨のシミュレーション結果

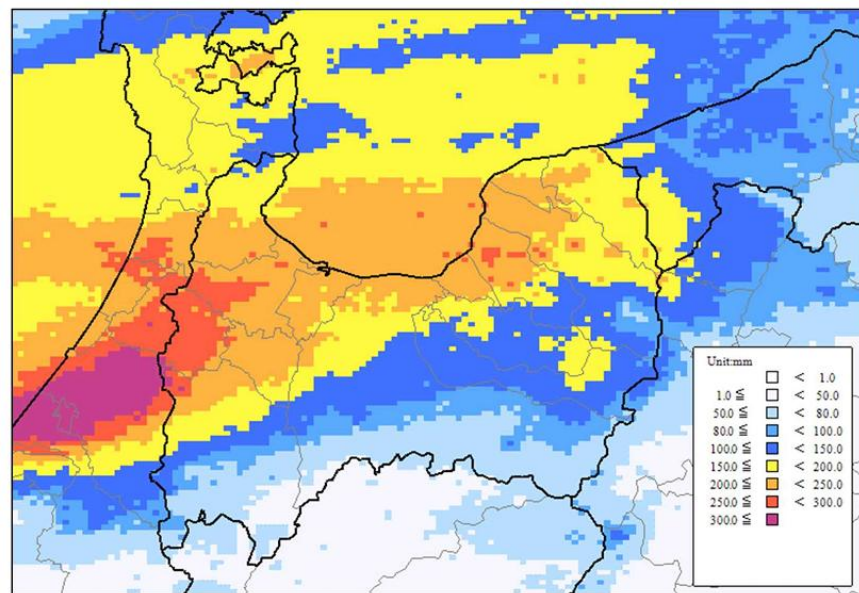
8 月 10 日 15 時から 11 日 18 時までの 27 時間積算降水量、左：実況、中：実際の（温暖化がある）2025 年の気候条件下で計算した降水量、右：温暖化がなかったと仮定して計算した降水量。

2025年8月7日の富山県の大雨



積算解析雨量分布図 (8月6日00時～8日24時 単位:mm)

※解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間雨量を解析したものです。



7日9時40分：小矢部川氾濫危険情報発表

期間最大洪水キキクル
(2025年8月7日00時～7日24時)

8月6日夕方線状降水帯半日前予測情報発表

大雨と雷及び突風に関する富山県気象情報 第5号

2025年 8月 6日16時56分 富山地方気象台発表

富山県では、6日夜遅くから7日朝にかけて、**線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。**
7日明け方から朝にかけて、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、7日朝から夕方にかけて、土砂災害に警戒してください。
また、7日夜遅くにかけて、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意してください。

[気象概況]

低気圧が日本海にあって、前線が東北地方へのびています。7日は低気圧が北日本に進み、前線が北陸地方を南下するでしょう。
富山県では、前線に向かって流れ込む暖かく湿った空気の影響を受けるため、7日にかけて大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる見込みです。また、7日は局地的に非常に激しい雨の降る所があるでしょう。

[雨の予想]

6日に予想される1時間降水量は多い所で、

東部 40ミリ

西部 40ミリ

7日に予想される1時間降水量は多い所で、

東部 50ミリ

西部 50ミリ

6日18時から7日18時までに予想される24時間降水量は多い所で、

東部 150ミリ

西部 150ミリ

その後、7日18時から8日18時までに予想される24時間降水量は多い所で、

東部 50ミリ

西部 50ミリ

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

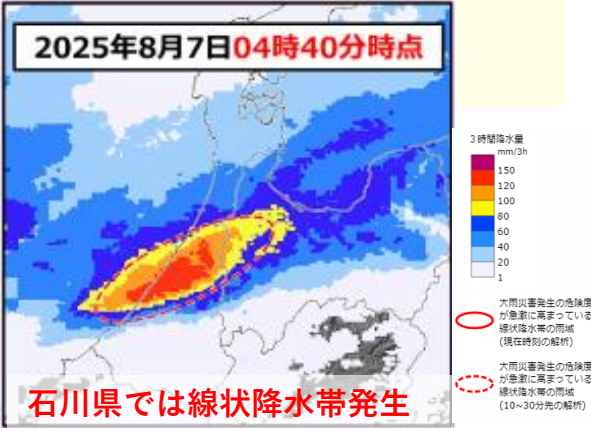
■ 統計開始以来の極値更新

市町村	地点名	要素名	値	起日	これまでの極値	統計開始年
砺波市	砺波	24時間降水量	206.5mm	8月8日	176.0mm 2023年7月13日	1976年
南砺市	南砺高宮	24時間降水量	201.5mm	8月8日	187mm 1983年9月28日	1976年

■ 8月としての極値更新

市町村	地点名	要素名	値	起日	これまでの極値	統計開始年
南砺市	南砺高宮	1時間降水量	54.5mm	8月7日	54mm 1998年8月5日	1976年
魚津市	魚津	24時間降水量	195.0mm	8月7日	186mm 1976年8月15日	1976年
黒部市	宇奈月	24時間降水量	180.5mm	8月7日	150.5mm 2013年8月24日	1984年
砺波市	砺波	24時間降水量	206.5mm	8月8日	143.5mm 2013年8月24日	1976年
富山市	秋ヶ島	24時間降水量	146.5mm	8月8日	144.5mm 2013年8月24日	2003年
南砺市	南砺高宮	24時間降水量	201.5mm	8月8日	155.0mm 2013年8月24日	1976年

線状降水帯の発生日※ ¹	地方予報区	府県予報区※ ²	線状降水帯の発生状況	呼びかけ状況
8月6～7日	北陸地方	新潟県	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施
		富山県	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施
8月7日		石川県	線状降水帯が発生	呼びかけを実施



富山県での線状降水帯発生なし

線状降水帯に関する情報の改善

・気象防災速報（線状降水帯直前予測）

令和8年5月29日から、線状降水帯が発生する可能性が高まっていることを、発生2～3時間前にお知らせすることを目標とする直前予測の発表を開始。

・線状降水帯予測マップ（直前予測を補足する情報）

今後3時間以内に線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域を地図上に示した「線状降水帯予測マップ」を気象庁HPで常時提供。直前予測が発表されていなくとも、メッシュ表示されている場合は線状降水帯による大雨のおそれがあります。

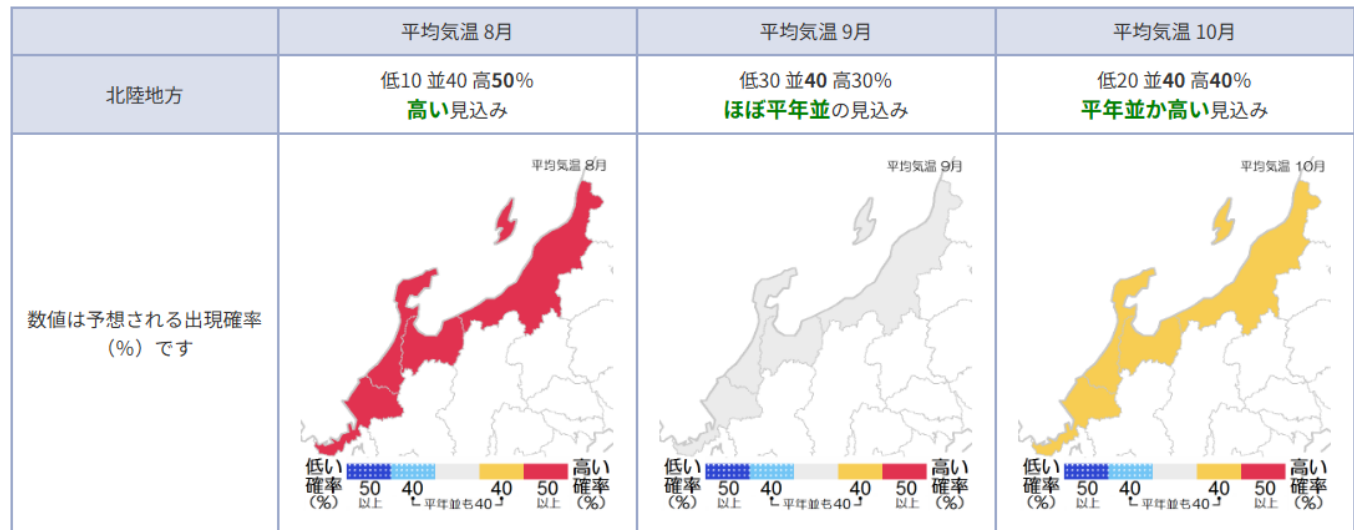


令和8年5月29日運用開始

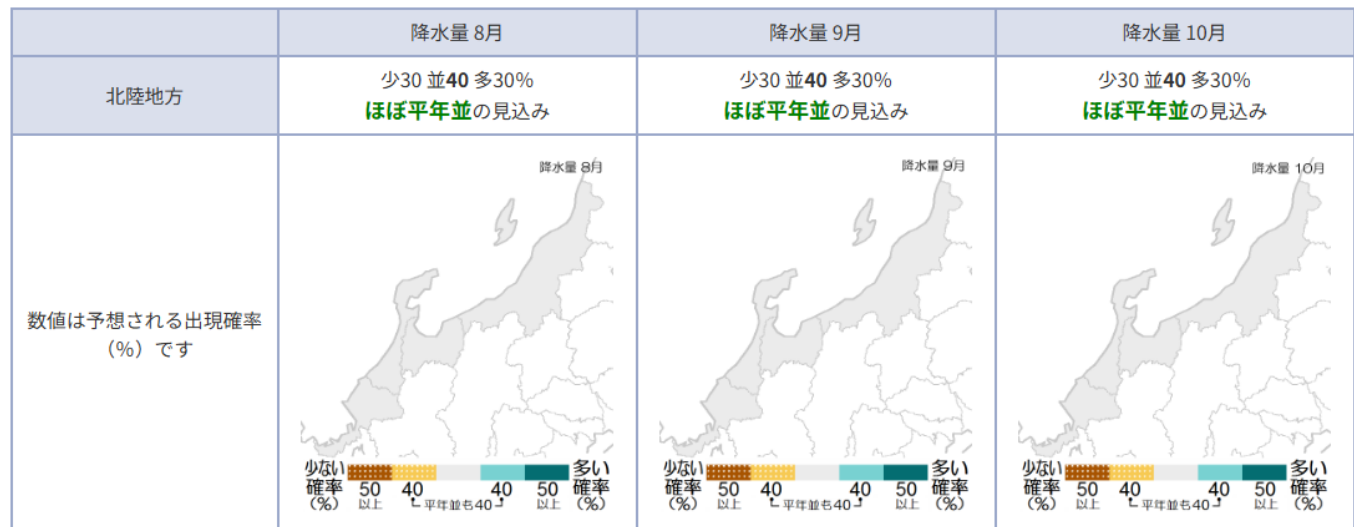
北陸地方 3 か月予報

3 か月予報 北陸地方（8月～10月） 2026年7月21日発表

8月	• 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
9月	• 天気は数日の周期で変わるでしょう。
10月	• 天気は数日の周期で変わるでしょう。



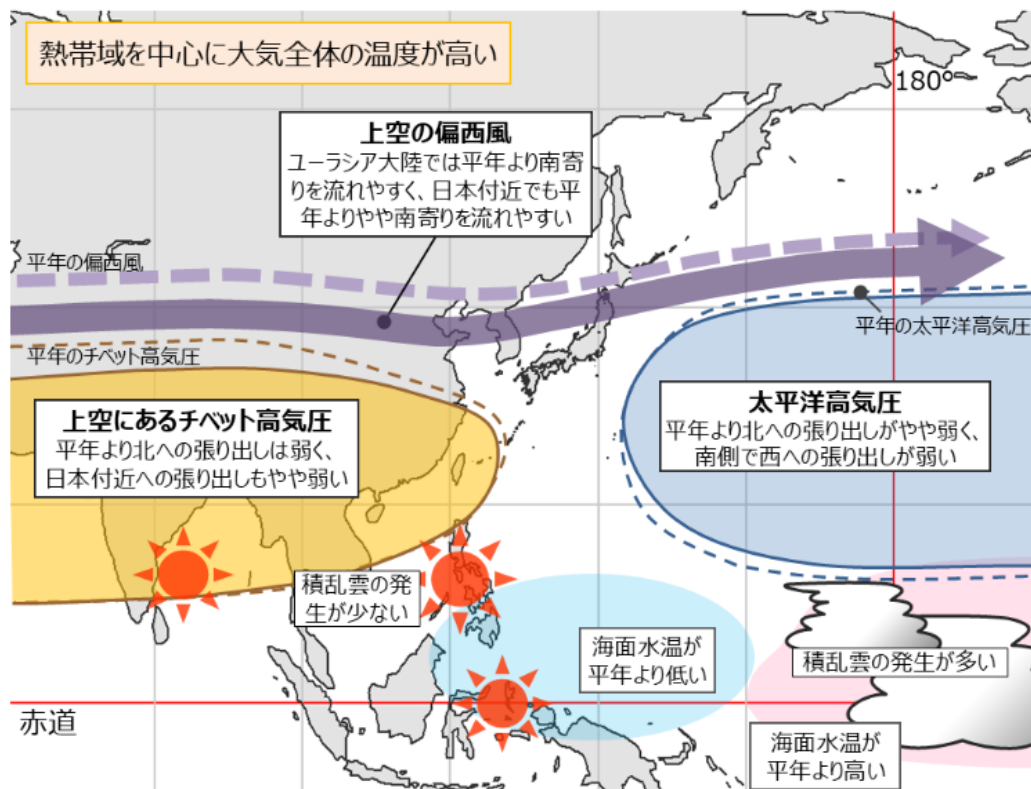
6月23日発表
3か月予報
対象期間7月～9月



3 か月（8月～10月）の予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化やエルニーニョ現象等の影響で、熱帯域を中心に大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が続く見込みで、海面水温は太平洋赤道域の東部から中部で高く、西部で低いでしょう。積乱雲の発生は、太平洋熱帯域の東部から中部で多く、インドからインドネシア付近にかけて少ないでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸では平年より南寄りを流れやすく、日本付近でも平年よりやや南寄りを流れやすい見込みです。チベット高気圧は北への張り出しは弱く、日本付近への張り出しもやや弱いでしょう。太平洋高気圧は北への張り出しがやや弱いでしょう。
- 偏西風は日本付近で平年よりやや南寄りを流れやすいものの、地球温暖化やエルニーニョ現象等により熱帯域を中心に大気全体の温度が高いため、沖縄・奄美を中心に全国的に暖かい空気に覆われやすいでしょう。

3 か月予報（2026年7月21日発表）の解説 新潟地方気象台

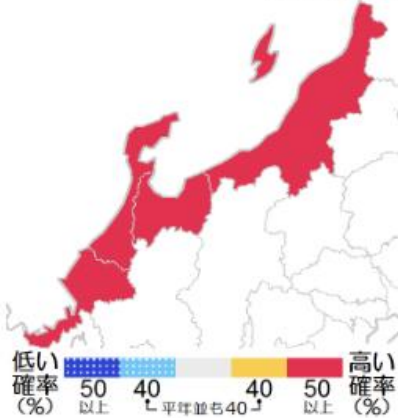
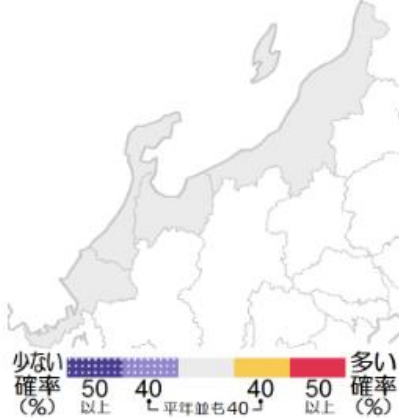


数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

3 か月予報は、主に熱帯域のゆっくりとした海洋変動の大気への影響に基づいています。

中高緯度の大気独自の変動（寒帯前線ジェット気流の蛇行や北極振動等）は予測の不確実性が大きいので、予報を検討する際にはこの点も考慮しています。

向こう 1 か月の天候の見通し
北陸地方（7/25～8/24）

	平均気温（向こう 1 か月）	降水量（向こう 1 か月）	日照時間（向こう 1 か月）
北陸地方	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	平均気温（1か月）  低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%）	降水量（1か月）  少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%）	日照時間（1か月）  少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%）

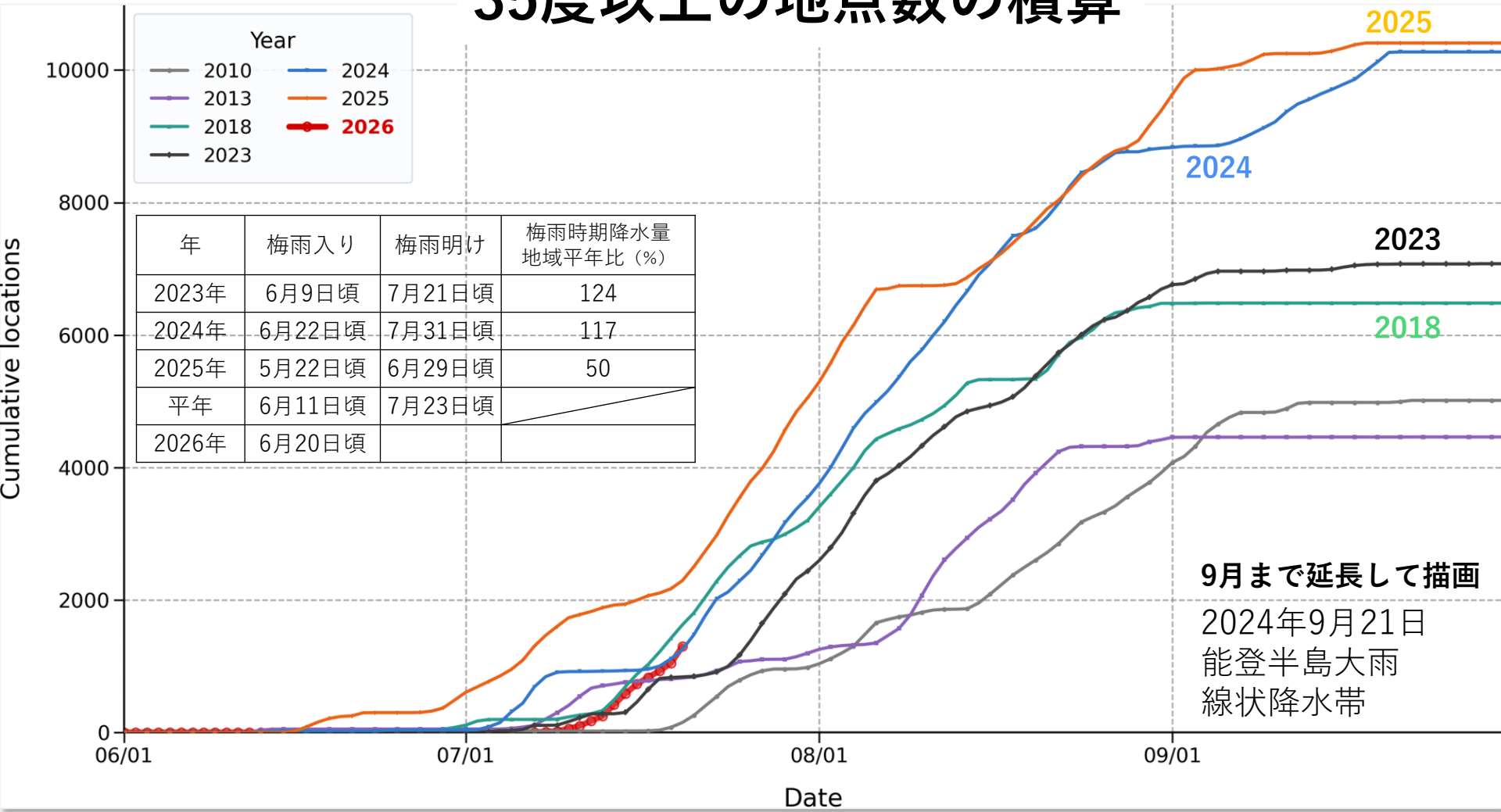
気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

気温	北陸地方	向こう 1 か月 07/25～08/24	10	30	60
		1 週目 07/25～07/31	10	40	50
		2 週目 08/01～08/07	10	10	80
		3～4 週目 08/08～08/21	10	40	50
降水量	北陸地方	向こう 1 か月 07/25～08/24	30	30	40
日照時間	北陸地方	向こう 1 か月 07/25～08/24	40	30	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

2026年の猛暑地点数の途中経過（7月20日時点）

35度以上の地点数の積算



7月20日時点では2024年・2018年に近い推移となっています。

熱中症警戒アラート

府県気象防災速報・気象解説情報欄に掲載

富山県の府県気象防災速報・気象解説情報等	
タイトル	発表時刻
富山県熱中症警戒アラート 第2号	2026年07月14日05時00分
富山県熱中症警戒アラート 第1号	2026年07月13日17時00分
富山県気象解説情報（大潮） 第1号	2026年07月10日11時44分

富山県熱中症警戒アラート 第1号

2026年07月13日17時00分 環境省 気象庁発表

環境省熱中症予防情報サイトへのリンク（富山）

富山県では、明日（14日）は、気温が著しく高く熱中症になりやすい危険な暑さになることが予想されます。熱中症予防のための行動をとってください。

<熱中症予防のための行動>

- ・屋内では、エアコンを適切に使用し、涼しい環境で過ごしてください。
- ・屋外への外出は、なるべく短時間にする、暑い時間を避けるなどを心がけてください。また、日傘や帽子を活用してください。
- ・屋内・屋外を問わず、こまめに水分補給・塩分補給をしてください。
- ・高齢者、子ども、持病のある方、からだに障害のある方、肥満の方等の熱中症になりやすい方々は、特に熱中症予防のための行動をとってください。また、身近な方からも、熱中症になりやすい方々へ、見守り・声かけをしてください。
- ・施設の管理者やイベント主催者等は、暑さ指数を確認の上、施設の利用者やイベント参加者等に対して、熱中症予防に関する呼びかけなどを行ってください。

[明日（14日）の日最高暑さ指数（WBGT）（予測）]

朝日31、氷見32、魚津30、伏木33、富山30、砺波30、上市29、南砺高宮30、八尾30

暑さ指数（WBGT：Wet Bulb Globe Temperature）は気温、湿度、日射量などから計算される、熱中症の発生リスクを示した指標です。全国の情報提供地点における暑さ指数は、環境省の「熱中症予防情報サイト」で提供しています。お近くの地点における暑さ指数を「熱中症予防情報サイト」で確認し、熱中症予防のための行動をとってください。

[暑さ指数（WBGT）の目安]

- 31以上：危険
- 28以上31未満：嚴重警戒
- 25以上28未満：警戒
- 25未満：注意

[明日（14日）の予想最高気温]

富山34度、伏木34度

この情報は暑さ指数（WBGT）を33以上と予測したときに発表する、自分の身を守るための気づきを促す情報です。予測対象日の前日17時頃または当日5時頃に発表します。

なお、予測対象日の前日17時頃に情報（第1号）を発表した地域に対しては、当日5時頃における最新の予測が33未満に低下した場合でも情報（第2号）を発表し、熱中症への注意を呼びかけます。

環境省HPへの
リンクを追加

夏季は高温による熱中症のリスクや線状降水帯などによる短時間強雨の可能性が高まる期間です。

適切な防災行動をとるために気象庁発表の防災気象情報などを有効にご活用ください。

富山県の早期注意情報（警報級の可能性）											
20XX年07月21日11時 富山地方気象台 発表											
東部では、21日までの期間内に、大雨、土砂災害警報を発表する可能性がある。 西部では、21日までの期間内に、大雨、土砂災害警報を発表する可能性がある。											
富山県東部	21日		22日				23日		24日	25日	26日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	中	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土砂災害	中	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県西部	21日		22日				23日		24日	25日	26日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	中	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土砂災害	中	中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ [高] ■ [中]

図は早期注意情報の発表イメージ